



日 下 茂 樹

株式会社インテック 代表取締役社長

さらなる進化を 目指して

2016年7月1日、「ITホールディングスグループ」は、「TISインテックグループ」として新たなスタートを切りました。純粋持株会社であったITホールディングスがTISを吸収合併、社名を「TIS」に変えるとともに、グループ名を「TISインテックグループ」といたしました。インテック、TISそれぞれのマネジメントスタイル、諸制度、文化の違いなどから性急な一体化は両社の強みを損い、お客さまにもご迷惑をおかけすることになると判断し、いったん今回の体制変更となりました。

新体制では、これまでのITホールディングスにおける経営参画と同様、私をはじめとするインテックの経営陣がTISの取締役として、TISの経営に参画することになります。

この体制変更先立ち、4月1日にインテック、TIS間で一部事業の相互移管を行

日

下

茂

樹

いました。今後もグループ全体最適、事業競争力のさらなる強化、新たな強み作りに向け、組織の再編に留まらず、様々な形のグループ内の変革を推進してまいります。

私は社長就任以来、全国のお客さまにお会いしご挨拶をさせていただきました。お客さまや地域の皆さまに支えられ、ご信頼をいただき、インテックが50余年の歴史を刻むことができたこと、インテックにとっての最大の財産は「お客さまからの信頼」であることを再認識するとともに、深く感謝しております。

私の使命は、このご信頼を途切れさせることなく、さらに太く確固たるものにする事です。そのためには、お客さまのIT利活用の範囲が従来の「業務効率化への貢献」から「事業拡大への貢献」へと変化していくなか、選ばれ続ける企業を目指し、インテックもその機能を高め、お客さまが求められるものの変化に合わせて成長していく必要があると考えます。

現在、世界には新たな産業革命とでもいうべき大きなデジタル化の波が押し寄せています。この波はまず消費者の世界で起こり、急激なデジタル社会への転換が進んできました。FinTech、ロボティクス、IoT、ビッグデータ、人口知能（AI）などのデジタル化技術が実社会へ浸透しつつあり、ここに来てビジネスの分野でも本格的なデジタル化が始まったことは間違いありません。いわゆ

るこれまでのIT化とは異なり、デジタル化は世の中のあらゆるものが大きくシフトする動きであり、ビジネスの世界では、ビジネスの仕方のみならずそのプレーヤーまでもが劇的に変化する動きだと認識しています。

この大きな変化の局面において、インテックがこれまでのようにお客さまの要望に堅実にお応えするという姿勢だけでは、お客さまの期待を満たすことはできません。この新しい動きを確実に吸収し、お客さま、さらには社会に対し「頼りになるパートナー」として流れをリードできる会社となるようインテック自身をさらに進化させてまいります。

インテックには創業以来、新しいことに積極果敢に挑戦する「進取の気質」があります。昨年、新しい動きの発信源である米国シリコンバレーに技術開発拠点を設けました。最先端技術の調査および発掘機能を強化し、現地で得た知見を積極的に発信してまいります。また、T I S インテックグループの各企業との連携もさらに深め、グループとしてのポテンシャルを最大限に引き出す動きも加速してまいります。

お客さま、社会に貢献できるよう、より一層努力してまいりますので、今後とも倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

日下 茂樹(くさかしげき)

1952年生まれ。福岡県出身。東京大学工学部卒。

1977年 三菱商事株式会社 入社。2011年 株式会社インテック 常務取締役、2015年5月より現職。趣味はゴルフやテニスなど人と一緒に楽しめるスポーツ。